

## 報告書抄録

ふりがな	ちゃしこつみさきうえいせき							
書名	チャシコツ岬上遺跡							
副書名	総括報告書							
巻次								
シリーズ名	斜里町文化財報告							
シリーズ番号	XL							
編著者名	平河内毅（編著）、松田功、石田肇、熊木俊朗、小林淳也、佐藤孝雄、中村和之、中村賢太郎、宮地鼓、山田悟郎、吉永亜紀子、吉本忍							
編集機関	斜里町教育委員会							
所在地	〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町1 2番地 TEL0152-23-3131							
発行年月日	2018（平成30）年3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	期間	調査 面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ちゃしこつみさき うえいせき チャシコツ岬上遺跡	ほっかいどう	015458	21	44	144	2013. 9.3～ 9.17	20㎡	保存を目的と した内容確認
	しゃりぐん							
	しゃりちょううとろ							
	にしちさき こくゆうりん 北海道斜里郡斜里町 ウトロ西地先国有林							
						2014. 9.2～ 9.30	40㎡	
						2015. 8.29～ 10.10	27㎡	
						2016. 8.30～ 10.8	37㎡	

所収遺跡名	種 類	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
チャシコツ 岬上遺跡	集落跡 遺物包含地	縄文中期 オホーツク 文化期	オホーツク文化期の 竪穴住居跡、土坑墓、 土坑、配石遺構、 廃棄層、遺物集中など	縄文中期（トコロ6類）、 オホーツク土器（貼付文）、 トビニタイ土器、剥片石器、 礫石器、骨角器、金属製品、 繊維製品	オホーツク文化 終末期の集落跡

### 要約

チャシコツ岬上遺跡は標高55 mの海岸段丘上に立地するオホーツク文化の集落跡である。遺跡からは31軒の竪穴住居跡、墓、土坑、配石遺構、廃棄層、遺物集中といった各種遺構が検出され、多くの遺物と共に夥しい量の動物遺体が出土した。出土した遺構・遺物から主にオホーツク文化終末期に営まれた集落とされ、放射性炭素年代と古銭（神功開寶）などの出土遺物の年代観に鑑みると、8～9世紀代に機能したと推察される。

優れた眺望を有した拠点的な集落機能に加え、ヒグマなどの野生動物を対象とした儀礼的側面が強いことも本遺跡の特性である。また、オホーツク文化の遺跡では初例となる皇朝十二銭の神功開寶が出土しており、オホーツク文化集団の擦文文化を介した古代国家との交流の可能性が示された重要な遺跡である。